

2026年産 じゅんかん育ちアスパラ

十勝ビストロ下水道プロジェクト

じゅんかん育ちアスパラも無事収穫2年目を迎えました。冬の間ミネラルをたっぷり含んだ雪の下で約3か月休眠し、春の日差しと共に萌芽してきます。今年は春先の気温が高く、ぐんぐん成長しているのでもみずみずしい柔らかなアスパラに仕上がっています。



○2026年は新たに柵板式高畝栽培の収穫がスタート

下水汚泥肥料をたっぷり混和した土を柵で囲い地上から50cm程度上げることで根の根域を確保。より大きな株を養成することができます。しゃがまずに収穫できるため、体への負担も軽減されています。同じビニルハウス内に下水汚泥区と牛糞堆肥区を作って収穫量・味・質などの比較実験を行っています。



○北海道でお馴染みのonちゃんが遊びにきてくれました

旬のアスパラを取材したいということで、圃場に遊びに来てくれました！地球にきて29周年になるそうです。上手にアスパラを収穫していて、意外と器用なonちゃんでした。放送は北海道テレビ放送(HTB)で5月下旬の予定ですが、放送後はYouTubeでも見れるようです。



○ネットショップにてご注文頂けます

4月1日から4月末までの期間でじゅんかん育ちアスパラの発送を受付しています。発送は4月下旬開始の予定です。7月には「夏芽」のじゅんかん育ちアスパラを初めて販売する予定となっておりますので、是非チェックしてみてください！写真のように夏芽は春芽よりも色が少し薄いですが、伸びるのが早いためより柔らかい食感を楽しめますよ。



←左記QRコードからほなみマルシェ店のネットショップに遷移します。

○販売に関するお問い合わせ先

ほなみマルシェ 担当：藤原 昇
北海道中川郡幕別町千住235番地4

TEL：0155-56-2555 mail：n-fujiwara@hokuo-nourin.com



十勝ビストロ下水道プロジェクトの取組み

～下水道テロワール野菜を目指して～

下水汚泥の資源利用の推進

- 2015年5月 下水道法改正
下水汚泥の再生利用が求められる
- 2023年3月 下水汚泥の原則肥料化方針提示
将来的に発生汚泥の100%肥料利用を目指す
⇒下水道のポテンシャルを活用した地域活性化
⇒十勝の下水道×食、下水道×農の可能性の追求

北海道十勝

- ⇒北海道南東部に位置し19市町村からなる
- ⇒食料自給率1,170%を誇る農業が盛んな地域
- ⇒人口約332,600人の生活排水は
十勝川流域下水道十勝川浄化センターに集約

北王コンサルタント株式会社 石川 健司
株式会社日水コン 原田 哲郎
北王農林株式会社 藤原 昇

札幌市
下水道研究発表会会場



下水汚泥の肥料化にあたっての課題

- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や「肥料品質確保法」等の**関連法令との調整**
- 下水道由来肥料の利用が、利用組合員等に限定されている
- 下水汚泥由来肥料を使ったじゅんかん育ち野菜をいかにテロワール野菜に昇華するか
- 「下水道」「汚泥」の**ネーミングイメージ**



- 下水道由来肥料の施肥が効果的な作物や、新しい品種作物の模索
- 肥料に含まれる**重金属の農作物への影響や安全性**の懸念
- 下水汚泥は**重・湿潤・価値が低い**ために運搬に適さない
- 運搬時に発生する温室効果ガス

プロジェクト概要

下水汚泥に含まれているリン・窒素などの肥料成分に着目し、十勝圏で下水汚泥を活用した野菜の普及を通じて地域活性化を目指したプロジェクト。
下水汚泥由来肥料を使ったテロワール野菜の確立を目指す。

テロワール野菜とは？

テロワールはラテン語で領地を意味する言葉。気候を含めた土地の個性に、風土や文化という概念が加わり、愛着や価値が生まれる。このような付加価値・ストーリーのある野菜をテロワール野菜と呼ぶ。

プロジェクトの活動と成果



▶ 十勝ビストロ下水道プロジェクトの活動内容・視察場所

2020.11.05	17名	説明、肥料活用上の課題 アスパラ生産への活用	北王農林アスパラほ場
2021.04.25	8名	肥料活用上の課題	帯広畜産大学酒蔵碧雲蔵
2021.10.29	31名	食育、農福連携、農業利用、PR	北王農林堆肥場
2022.10.27	55名	みどり戦略、じゅんかん育ち アグリビジネス、室工大連携	芽室ワイナリー

2021年

北王農林が
下水道由来肥料を確保

2022年

とうもろこしの栽培に
成功・ネット販売

2023年

幕別町ふるさと納税
返礼品に登録

下水道展'23
おもてなしコーナー幕別町にて販売!



プロジェクトが目指す地域活性化



- 下水汚泥由来肥料の利用
- じゅんかん育ち野菜のテロワール野菜化
- “下水道テロワール野菜”を利用した**循環型社会**
- テロワール野菜の消費
- 生活由来の排水が発生

下水処理場

- 生活排水等の処理により下水汚泥が発生
- 消化・脱水・乾燥を経た下水汚泥の堆肥化

とち財団が運営する
交流・連携・発展を図る場所



十勝地域の活性化

+ みどりの食料システム戦略実現

- 枯渇資源であるリンの再資源化
- 肥料の国内生産、輸入依存の緩和
- 化学肥料の抑制によるコスト低減
- 温室効果ガス発生抑制の検討
- カーボンニュートラルへの貢献

